

サントリーグループ・グローバル税務方針

※この文書は、当社の **Global Tax Policy** を参考和訳したものです。

原文（英語版）：[Global Tax Policy and supplementary note](#)

税務方針宣言

私たちの税務に関する全体的なビジョンは、コンプライアンスを維持し、リスクを管理するとともに、シナジーを最大化し、サントリーグループの事業目標の達成を可能にすることです。以下に示す税務方針およびコミットメント・価値観は、サントリーグループ企業倫理綱領を反映し、これに裏付けられたものです。

コンプライアンスの義務を果たすために、効果的な税務ガバナンスを推進する：私たちのコンプライアンス活動と税務申告義務を果たすための現場の取り組みは、税務リスクを積極的に許容範囲内に抑制していくための鍵となるものです。私たちは、法令を遵守し、強い倫理観をもってすべての事業活動に取り組みます。グローバル税務方針の遵守状況は、財經担当役員が定期的に確認し、重要な税務問題が発生した場合には、必要に応じてグローバルリスクマネジメント委員会へ共有します。グローバルレベルでの明確なレポートラインを設定し、税務情報の正確かつタイムリーな報告を求めます。私たちは、事業を展開している国・地域での適正納税を含む税務管理上の義務およびベストプラクティスを遵守するために、外部の専門アドバイザーから助言を受け、必要に応じて社内のリソースを活用します。

適正な納税を行いつつ、リターンを最大化し、シナジーを創出する：私たちは、良き企業市民として、税効率の向上に努めながら、グローバルに誠実で適正な納税を行い、積極的に社会に貢献します。事業を持続可能なものにするため、税効率の最も高い方法で取引を行うことを検討しますが、取引には事業上の活動、目的、実体があることを常に最優先とします。私たちは、収益を最大化するために税効率を追求しますが、税金を減らすことのみを目的とした過度なタックスプランニングは行いません。サントリーグループ内のすべての取引価格設定およびサービス取引は、当社の移転価格方針に基づき、独立企業間原則に従います。必要な場合は、潜在的なリスクを軽減するために、可能な範囲で税務当局から事前の合意を得ます。さらに、当社のコミットメントや価値観に沿いながら、OECD ガイドラインの原則や当社が事業を行う国の法律に従い、コンプライアンスを維持します。

社会とステークホルダーの長期的な利益を追求する：私たちは、倫理的かつ適切な方法で事業を行います。特に、当社が事業を行う地域の税務当局とはオープンかつ透明で前向きな関係を維持します。私たちは、オープンで透明性の高い事業活動を行います。私たちは、関連する税法の規則や通達に沿って税法を解釈します。私たちは、税務上のリスクを評価し、税務紛争を最小限に抑えるために、適切な場において、税務当局と税務上の専門的な問題を議論します。私たちは、法令に基づき必要な情報を適時かつ完全に開示し、各国の基準に従って税務当

局から照会があった場合は、必要な情報を提供します。また、何らかの紛争が生じた場合には、税務当局とオープンで建設的な対話を行い、早期の合意・解決に努めます。

税務上の問題に関して、事業部門をタイムリーにサポートする：私たちは、事業目標を達成するために税務担当者と各事業部門との間にアクティブな関係性を構築します。社内コミュニケーションの実施により、サントリーグループ全体で知識を共有し、シナジーを創出します。これにより、各事業部門への十分な税務知識の提供と、事業部門の社員が最適な事業上の意思決定を行えるようなサポートを可能にします。当社の各税務チームは各事業の経理部門と一体となり、税務アドバイスや税務マネジメントが実際の事業活動に反映されるよう社内コミュニケーションを行います。

2017年1月制定